

地域公共交通確保維持改善事業の事業評価（案）の概要

(1) 対象期間 令和元年10月～令和2年9月の1年間

(2) 対象路線

- | | |
|------------------|---------------|
| ①若宮・美原・手良・福島循環バス | ②富県・東春近地区循環バス |
| ③新山・桜井・貝沼線 | ④茅野・藤沢線 |
| ⑤三義・長谷循環バス | ⑥長谷循環バス |

(3) 事業実施の適切性

すべての路線において、事業は計画に位置付けられたとおり適切に実施された。

(4) 目標設定

- ・上記(1)における全ての路線について、1運行当たりの乗車人員を平成30年度実績に対して毎年1%増加させることを目標としている。

(5) 目標・効果達成状況

- ・コロナ禍の影響による外出自粛等によって、全ての路線において目標を達成することはできなかった。
- ・通勤や買い物を目的とした利用が定着しつつある路線もあるため、コロナ禍にあっても路線バスが地域の皆様の日常の移動手段として安心して利用できるものであり続けられる様、感染拡大防止に注意しながら利用促進の取組を進める。
- ・高齢利用者の自然減や過疎化等により利用者が減少傾向にある路線においては、利用状況の調査を行い、地域にあった公共交通のあり方について検討を進める。

[表：路線ごとの詳細]

路線名	目標値	実績値	主な活動状況等
若宮・美原・手良・福島循環バス	7.04人	6.38人	・通勤、買い物利用により一定程度の利用が定着しているため、継続的な利用促進を実施
富県・東春近地区循環バス	3.41人	2.65人	・利用状況調査の結果も踏まえ、R3年4月から乗合タクシーの運行を開始(R3年3月末でバスの運行を終了)
新山・桜井・貝沼線	4.04人	1.68人	・利用状況調査の結果も踏まえ、R3年4月から乗合タクシーの運行を開始(R3年3月末でバスの運行を終了)
茅野・藤沢線	6.05人	3.30人	・沿線地域の住民へ向けた利用促進の取組として路線バスのPRチラシを配布
三義・長谷循環バス	2.80人	2.07人	・沿線地域の住民へ向けた利用促進の取組として路線バスのPRチラシを配布
長谷循環バス	3.84人	2.41人	・利用状況調査の結果も踏まえ、R3年4月から乗合タクシーの運行を開始(バスの運行は減便)

